

学科名	コンサートイベント科
コース名	制作コース
授業科目	コンサートプロダクト4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	270
単位数	9
担当教員	森永直樹
実務経験	有
実務経験職種	マネージャー
授業概要	<コンサート制作コース> 市場調査、ヒットチャート研究などマーケティングを行い、アーティストやジャンルによる客層を把握して、効率的なプロモーション方法を研究します。
到達目標	2年次は、スキルアップを図るため外部のコンサート会場を使用した本番実習を行う。各公演では現存のチケット流通やメディアに向けて情報を発信し限りなくコンサート・イベントの現場に近い環境下で実習を行う。コミュニケーション能力が高く、自ら考えて行動しエンタテインメント業界で活躍できる人材となる事を目標とする。
授業方法	必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。制作スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セッションとの連携や外部のメディア企業や協賛企業との交渉を通じてコミュニケーション能力の向上させます。
成績評価方法	* 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 * 授業内容の理解度を確認するために実施する。
履修上の注意	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。あとは分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。
教科書・教材	随時、資料等配布

授業計画	
第1回	学園祭プロジェクト制作準備：【チーム編成】①本部②制作・企画③運営④宣伝⑤協賛⑥経理の組閣の実施する
第2回	学園祭プロジェクト制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第3回	学園祭プロジェクト制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第4回	学園祭プロジェクト制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第5回	学園祭プロジェクト本番：会場準備、リハーサル、運営シミュレーション、本番実施し実践的な理解を深める
第6回	学園祭プロジェクト反省会：本番を終えての振り返り、次回のイベントに向けての改善点を考える
第7回	卒業ライブ制作準備：【チーム編成】①本部②制作・企画③運営④宣伝⑤協賛⑥経理の組閣の実施する
第8回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第9回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第10回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第11回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営宣伝、協賛、経理）
第12回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第13回	卒業ライブ制作準備：各セクションで準備を進める（本部・制作企画、運営、宣伝、協賛、経理）
第14回	卒業ライブ：本番を安全に行うことができる：会場準備、リハーサル、運営シミュレーション、本番実施し実践的な理解を深める
第15回	卒業ライブ：本番を安全に行うことができる：会場準備、リハーサル、運営シミュレーション、本番実施し実践的な理解を深める

学科名	コンサートイベント科
コース名	PAコース
授業科目	コンサートプロダクト4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	270
単位数	9
担当教員	中里哲也・小峰建
実務経験	有
実務経験職種	舞台音響業務
授業概要	<コンサートPAコース> 大型のミキサーやデジタルミキサーの扱いも習得し、ミキシング技術、本番のオペレートを習得します。
到達目標	デジタルコンソールのしくみを理解し、バンドに対応した多チャンネルコンソールのしくみが理解できるようになる。ネットワークを利用したデジタル音声伝達の仕組みを理解できるようになる。ラインアレイスピーカーのしくみを理解し、安全に考慮した仕込みができるようになる。音場補正等環境に応じたシステム構築ができるようになる。外部ホールを使用した実践的な環境でコンサートPAを行うことができる。
授業方法	コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、仕込み作業をスピードアップさせる事も大切です。PAチームとしてのワークスタイルを確立し、更なるミキシングテクニックを実践的に学びます。各コースとの関連やコミュニケーションを本番実習を通して学びます。外部ホールを使用した本番実習を行うことによってより実践的な環境でコンサートPAを行います。
成績評価方法	* 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 * 授業内容の理解度を確認するために実施する。 * グレードテストを行います。
履修上の注意	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しません。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。あとは分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。
教科書・教材	随時、資料等配布

授業計画	
第1回	実践的 P A 機材研究⑦：各音響機器の復習をしながらより正確なオペレートができるようになる
第2回	実践的 P A 機材研究⑧：各音響機器の復習をしながらより正確なオペレートができるようになる
第3回	かまた祭プロジェクト制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第4回	かまた祭プロジェクト制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第5回	かまた祭プロジェクト本番：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第6回	かまた祭プロジェクト反省会：本番を終えての振り返り、次回のイベントに向けての解決方法を考える
第7回	機材メンテナンス・はんだ付け実習：各機器のメンテナンスとコネクタの半田付けができるようになる
第8回	グレード試験：マルチケーブルとスピーカーケーブルの八の字巻きが正確にできるようになる
第9回	卒業ライブ制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第10回	卒業ライブ制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第11回	卒業ライブ制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができるようになる
第12回	卒業ライブ制作準備：セッティング、テクニカルリハーサルができる
第13回	卒業ライブ制作準備：持込機材の準備を行い本番に備える
第14回	卒業ライブ：仕込み、リハーサル、本番を安全に行うことができる
第15回	卒業ライブ：仕込み、リハーサル、本番を安全に行うことができる

学科名	コンサート・イベント科
コース名	コンサート照明コース
授業科目	コンサートプロダクト4
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	270
単位数	9
担当教員	島立 麦人
実務経験	有
実務経験職種	バンケット照明
授業概要	1年次に学んだ舞台照明の基礎知識と技術を踏まえてより実践的な内容を学ぶ。昨今のコンサート業界で実際に用いられている機材に学内で触れることで、コンサートの現場へ就職した際に対応できる能力を身に付ける。学内外の施設を有効活用し、整った環境の中で舞台照明に必要な正しい技術の向上を図る。授業のアーカイブ化を実施することで、学内で学んだ内容を自宅で復習できる環境を提供する。
到達目標	照明機材の内部構造を理解しメンテナンスや修理ができる程度の技術を身に付ける。ライティングデザインや本番実習を繰り返し経験することでコンサート全体の仕事を理解し、一つのイベントを学生のみで作りあげる。年間の実習を通してコンサート業界で働く姿勢を身に付け、卒業後に業界内で活躍できる人材を育成することを最終目標とする。
授業方法	学内外の施設を活用しライブハウスやホールでのイベントを想定した準備～仕込み～本番～バラシまでの作業を実践的に学ぶ。色彩理論やライティングデザイン、安全衛生法等の必要知識を学ぶ講義形式の授業を実施。
成績評価方法	提出課題 30% 定期的な課題の提出率、提出内容で評価。 グレード試験 30% 試験の合否 授業成果 40% 授業への取り組む姿勢を評価
履修上の注意	全第一で授業を実施。重量物や昇降物がある為、声を出すことが非常に大切になる。照明スタッフは高所に上がることもあり。理由のない遅刻や欠席は認めない。挨拶をしっかりと行うことが大切。 グレード試験や小テストを行い理解度を確認する。携帯電話は使用禁止。教室には機材がある為、飲食は禁止とする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	○舞台・テレビジョン照明：テキストを基に資料を作成。授業内で学生へ配布 ○ステージ・PA・照明用語辞典：毎回の授業で活用 ○オンライン授業動画：自宅での復習に活用

授業計画	
第1回	ネットワークについての講義 目標：照明の操作卓、3Dシュミレーター、使用施設、使用機材をつなぐネットワーク理論を理解する。
第2回	仮設電源実習 目標：小会場や野外現場で用いられる仮設電源について、知識と技術を習得する。
第3回	高所作業実習 目標：足場やイントレ等の高所で照明機材の仕込み方を学ぶ。安全と注意に関して正しい知識を得る。
第4回	機材理解について実習 目標：機材の内部構造や駆動の仕組みについて学ぶ。ある程度の修理が行える技術を身に付ける。
第5回	1.2年合同実習 目標：卒業期の学生が進級期の学生へ知識と技術を教えることで自身の学びを他者へ伝える技術を身に付ける。学年を越して縦の繋がりを構築する。
第6回	学内ライブ実習①（学園祭準備） 目標：複数の会場を使用しての実習を行うことで、機材の配分やタイムスケジュールの管理を身に付ける。
第7回	学内ライブ実習②（学園祭本番） 目標：少ない人員での本番実習を通して、各自の作業効率向上や限られた時間の活用方法を考えさせる。
第8回	照明技能認定試験対策講座（筆記） 目標：照明技能認定2級相当の照明の知識を理解し習得する（機材知識、電力計算等）
第9回	照明技能認定試験対策講座（実技） 目標：照明技能認定2級相当の照明の知識を実技練習で習得する（仕込み・配線・バラシ）
第10回	照明技能認定試験 目標：照明技能認定2級を目標とする（実技試験・筆記試験）
第11回	卒業ライブ実習①(資料作成) 目標：2年間で最大の機材数を使用した仕込み図を完成させる。
第12回	卒業ライブ実習②(ライティングデザイン) 目標：明かり作りを通して会場の構造や空間を意識したライティングデザインを学び、データへ反映させる。
第13回	卒業ライブ実習③(テクニカルリハーサル、リハーサル) 目標：テクリハ、リハーサルを通して、ライティングデザインの修正、最終調整を行い本番に備える。演者や観客の視点から明かりのデザインを考え、より完成度の高い明かりをデザインする。
第14回	卒業ライブ実習④(本番実習) 卒業ライブ実習での本番、バラシ作業を通して学外ホールでの作業工程を円滑に行うことができる。演者や観客がイベントに参加して良かったと思える舞台照明を作り上げる。
第15回	舞台照明グレード試験(卒業試験) グレード試験を通して2年間学んだ自身のスキル（知識・技術）を確認し、卒業認定を得る。

学科名	コンサートイベント科
コース名	舞台コース
授業科目	コンサートプロダクト4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	270
単位数	9
担当教員	田城佳子
実務経験	無
実務経験職種	
授業概要	<コンサート舞台コース> CADソフトを使用しての舞台図面作成や舞台進行などを習得します。
到達目標	スキルアップを図るため外部のコンサート会場を使用した本番実習を行う。各セクション、出演者サイド、会場スタッフとのコミュニケーションの精度を上げ搬入から本番・撤収までを安全に終える事を目標とする。自ら考えて行動しエンタテインメント業界で即戦力として活躍できる人材となる事を目標とする。
授業方法	コンサート舞台スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。舞台スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セクションとの連携を通じてコミュニケーション能力を養います。
成績評価方法	* 積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。 * 本番実習での協調性、臨機応変さにて評価する。
履修上の注意	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。あとは分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。
教科書・教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画	
第1回	学園祭に向けて：野外ステージを想定し、イントレを安全に組み立てることができる。
第2回	学園祭に向けて：道具図面作成、道具帳作成することができる。
第3回	学園祭に向けて：アーティスト資料をもとにタイムテーブル、進行表、立ち位置図面の作成ができる。
第4回	学園祭に向けて：安全にステージの設営、道具セット建て込みを、行うことができる。
第5回	学園祭本番：タイムテーブルに沿って、リハーサルから本番・撤収まで、安全に終えることができる。
第6回	卒業ライブに向けて：本番を想定し、道具セットの思案、特殊効果の思案をすることができる。
第7回	卒業ライブに向けて：何を確認するべきかを考え、会場サイドに確認することができる。
第8回	卒業ライブに向けて：アーティスト資料をもとに、立ち位置図面、楽器セッティング図の作成ができる。
第9回	卒業ライブに向けて：作成資料の説明、質問事項を考え、プロダクションサイドに確認することができる。
第10回	卒業ライブに向けて：本番を想定し、道具のサイズ、重量計算を理解することができる。
第11回	卒業ライブに向けて：各バンドのセッティング図をもとに、スムーズに転換ができるよう、流れを理解することができる。
第12回	卒業ライブに向けて：実際に校内にて仕込、転換、テクリハを行い、問題点を検証することができる。
第13回	卒業ライブに向けて：仕込段取りを踏まえ、積み込み手順を考えることができる。
第14回	卒業ライブ：タイムテーブルに沿って、リハーサルから本番・撤収まで、安全に終えることができる。
第15回	卒業ライブ：タイムテーブルに沿って、リハーサルから本番・撤収まで、安全に終えることができる。

学科名	コンサート・イベント科
コース名	イベント企画コース
授業科目	コンサートプロダクト4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	270
単位数	9
担当教員	小山慶
実務経験	有
実務経験職種	コンサート・イベント音響
授業概要	<イベント企画コース> 目的のためには何を行い、こういった結果を出すのか、イベント企画の根本を学習します。
到達目標	スキルアップを図るため学内外の様々な人たちとコミュニケーションをとり、発想力やプレゼンテーション力、コミュニケーション力を磨く。産学協同プロジェクトや地域連携のイベント参加を通じて社会人として通用するコミュニケーション能力や人間力を身に付ける。将来、イベント業やエンタテインメント業界で即戦力として活躍できるような人材となる事を目標とする。
授業方法	"6W2Hを元に、「なぜ」いつ、どこで、何を、どのようにするのか？ イベントの企画・運営を反復実践する。 学内のみならず学外の会場にて公官庁・企業案件に携わることによりイベント制作について実践的に学ぶ。イベント制作に必須となるPCスキル（Word ,Excel ,Powerpoint ,Photoshop ,Illustrator）を実践形式で学ぶとともに、社会人の一員としてのコミュニケーションスキル、ビジネスコミュニケーションツール（電話、メール、オンラインミーティングツール）のスキルを習得する。
成績評価方法	* 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。
教科書・教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画	
第1回	学園祭プロジェクト制作準備、卒業企画についてのプレスト
第2回	学園祭プロジェクト制作準備：企画内容のプレゼンテーション、企画の決定、チーム編成
第3回	学園祭プロジェクト制作準備：セッションごとに準備を進める
第4回	学園祭プロジェクト制作準備：読み合わせ・シミュレーション・修正を行う、広報活動の実施
第5回	学園祭プロジェクト本番：本番実施し実践的な理解を深める
第6回	学園祭プロジェクト反省会：本番を終えての振り返り、卒業イベントに向けての改善点を考える
第7回	卒業イベント準備：企画内容のプレスト
第8回	卒業イベント準備：企画内容のプレゼンテーション、企画の決定、チーム編成・会場選定
第9回	卒業イベント準備：出演者ブッキング等、宣伝ツールの作成、協賛企業の獲得、空間演出の決定
第10回	卒業イベント準備：進行台本、運営マニュアルの作成
第11回	卒業イベント準備：読み合わせ・シミュレーション・修正を行う、広報活動の実施
第12回	卒業イベント準備：設営、運営・進行リハーサルの実施
第13回	卒業イベント本番：本番運営、撤収まで安全に終える。本番実施し実践的な理解を深める
第14回	卒業イベント：会場準備、運営シミュレーション、本番実施し実践的な理解を深める
第15回	総括・反省：2年間の振り返り、社会に出るにあたっての課題を見出し、準備を進める